

鴨川市地域公共交通会議 令和4年度第1回会議

会 議 録

日時：令和4年6月29日（水）
午後2時30分から午後3時32分まで
場所：鴨川市役所 7階会議室

1 会長及び委員

役職等	所属・職	氏名	備考
会長	鴨川市 副市長	平川 潔	
副会長	社会福祉法人鴨川市社会福祉協議会 事務局 局長	羽田 幸弘	
	日東交通株式会社 運輸部 部長	高橋 晴樹	
	一般社団法人千葉県バス協会 専務理事	成田 斉	
	有限会社鴨川タクシー 代表取締役	本多 信介	
	日東交通株式会社労働組合 安房支部 支部長（鴨川担当）	佐藤 亮司	
	国土交通省関東運輸局千葉運輸支局 首席運輸企画専門官	高橋 直人	
	千葉県総合企画部交通計画課 企画調整班 班長	渡邊 彰	
	鴨川市校長会 会長	前田 桂子	
	利用者代表	平野 元美	

【欠席委員】

役職等	所属・職	氏名	備考
	小湊鐵道株式会社 バス部 部長	深山 宏樹	
	千葉県鴨川警察署 交通課 課長	太田 雅之	
	千葉県安房土木事務所 鴨川出張所 所長	石渡 照康	
	東日本旅客鐵道株式会社 安房鴨川駅 駅長	山田 茂夫	
	利用者代表	藤本 文子	
	利用者代表	里見 桂子	

2 事務局

所属・職	氏名	備考
鴨川市企画総務部 部長	大久保 孝雄	
鴨川市企画総務部企画政策課 課長	滝口 俊孝	
鴨川市企画総務部企画政策課 課長補佐	鈴木 英毅	
鴨川市企画総務部企画政策課 住み続けたいまちづくり係 係長	星野 誠	
鴨川市企画総務部企画政策課 住み続けたいまちづくり係 主事	加藤 貴啓	

[配布資料]

- ・次第、席次表、出席者名簿、委員名簿
 - ・資料1 鴨川市コミュニティバス 令和3年度運行実績について
 - ・資料2 令和5年度地域内フィーダー系統確保維持事業に係る地域公共交通計画の認定申請について
 - ・参考資料 「チョイソコかもがわ」利用実績（令和3年4月～令和4年3月）
-

■議事要旨

1 開会（午後2時30分） 司会 企画総務部企画政策課 滝口課長

- ・職員紹介
- ・配布資料の確認
- ・会議の成立、公開の報告
- ・交代委員の紹介

2 会長あいさつ

（要旨）

ご多用の中、出席いただき感謝する。

新たに就任された委員については、改めてよろしくお願い申し上げます。

本日の会議では、1件の報告に加え、1件の事項について、ご協議をお願いする。

詳しくは、事務局から説明があるが、忌憚のないご意見をいただけるようお願い申し上げます、会議の冒頭に当たっての挨拶とさせていただきます。

3 議事 議長 平川会長

会長が議長として進行。

会議録署名人として、高橋晴樹 委員を指名

報告案件1 鴨川市コミュニティバス 令和3年度運行実績について

（事務局から、資料1に即して説明）

羽田委員：南ルートの利用者数が増加しているが、どのような要因によるものか。

事務局：南ルートは江見小学校への登校に利用されているが、令和2年度においてコロナ禍の影響により約1か月間、休校した期間があることから、この期間の登校利用の有無が影響している。

また、乗務員へのヒアリングでは、買物や通院等の利用者が徐々に戻ってきているように感じられるというものもあった。

成田委員：3点質問する。

1点目、令和3年度の実績は、前年度と比較して横ばいとなっているが、緊急事態宣言解除後となる今年度のこれまでの実績について。

2点目、コミュニティバスの運行に当たり、有料広告による収入は貴重な財源であると考えるが、募集や周知の方法について。

3点目、コロナ禍以前の収支について伺いたい。

事務局：1点目、令和4年4月、5月の実績については、令和3年度に引き続き横ばいとなっている。

2点目、有料広告の周知状況について、市ホームページに常時記事を掲載しているほか、枠に空きがある場合は運行車両に募集している旨を掲示している。

3点目、令和元年度の収支について、運行費用が36,406千円、運行収入が5,646千円、広告収入が32千円、収支が▲30,728千円で収益率は15.6%、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金は10,689千円、乗客1人当たり市負担額は1,039円、国庫補助金を含む場合は678円であった。

会長：本市コミュニティバスは、高齢者の買物や通院等の利用が主となっていることや、リモートワーク等への勤務形態の変化もあまりないことから、緊急事態宣言の解除による利用の変化が大きくなかったのではないかと推察する。

本多委員：「(5) 10人以上の乗車実績」について、最大乗車人数の乗車時はイベントがあった等、特殊な場合か。

事務局：北ルート及び南ルートについては日常的な利用によるもので、清澄ルートについては団体で観光する者から問い合わせがあったことから、これによるものと推察する。

協議案件1 令和5年度地域内フィーダー系統確保維持事業に係る地域公共交通計画の認定申請について

(事務局から、資料2に即して説明)

成田委員：「2.(1) 事業の目標」について、令和3年度の実績24,724人に対して、目標値は22,035人と低く設定している理由を伺いたい。

事務局：この目標値は地域公共交通計画との整合性を図ることとされており、令和7年度の推計値は過去3か年の平均増減率により算出し18,566人、同年度の目標値は同計画を推進し減少率を毎年度50%改善させた場合として算出し20,834人としている。

資料の目標値については、同じ方法で算出した令和5年度時点のものを記載している。

成田委員：令和3年度実績から減少する目標値に疑問を持つ者がいると考えられることから、説明いただいた内容を記載いただければと思う。

↓

「2.(1) 事業の目標」に算出根拠を記載することとして承認

なお、国への申請等の段階で、軽微な変更が必要とされた場合の対応については、会長及び事務局に一任された。

4 その他

事務局：「チョイソコかもがわ」について、2点報告する。

1点目、令和3年度運行実績が千葉トヨタ自動車から提供された。延べ利用者数は1,501人、一日平均では6.3人となっている。

2点目、令和4年7月から予約方法としてWEBでの予約が追加される。市としても、長狭地域への回覧により、周知する予定である。

成田委員：利用者からの意見や要望はどのようなものがあり、市は把握しているか。また、運行内容を変更するプロセスはどのように考えているか。

事務局：利用者からの要望等については、市にあったものを含め、共通乗降場所の追加や運行日時の追加、延長等があった。

要望等があった場合、運行内容の変更を事業主体で検討し、変更する場合には市に相談いただいた上、必要に応じて本会議に諮ることとしている。

成田委員：運行内容の変更を本会議に諮るタイミングが決まっていれば伺いたい。

事務局：今回説明したような予約方法の追加等については随時変更されているが、共通乗降場所の追加等、協議を要するものについては、本会議開催のタイミングに合わせていただいている場合が多かった。

なお、チョイソコかもがわについては今年度末までが実証運行期間に位置付けられ、現在、市からの補助なく運行いただいている。次年度以降の運行継続可否については市も検討にわり、本会議でも協議いただきたく考えているのでよろしく願います。

成田委員：承知した。

事務局：今年度の会議スケジュールについて、令和4年3月に地域公共交通計画を策定し、地域公共交通の再編の方向性を取りまとめたので、今年度は再編内容の具体化を図っていきたい。次回の会議は、8月中旬または下旬頃を予定し、再編に向けた基本的な事項を協議させていただきたい。

また、「チョイソコかもがわ」の本格運行への移行についても、公共交通網の再編に併せて、早期に検討させていただきたいと考えているので、よろしく願います。

5 閉会（午後3時32分）

以上

令和4年7月29日

会議録署名人 高橋 晴樹